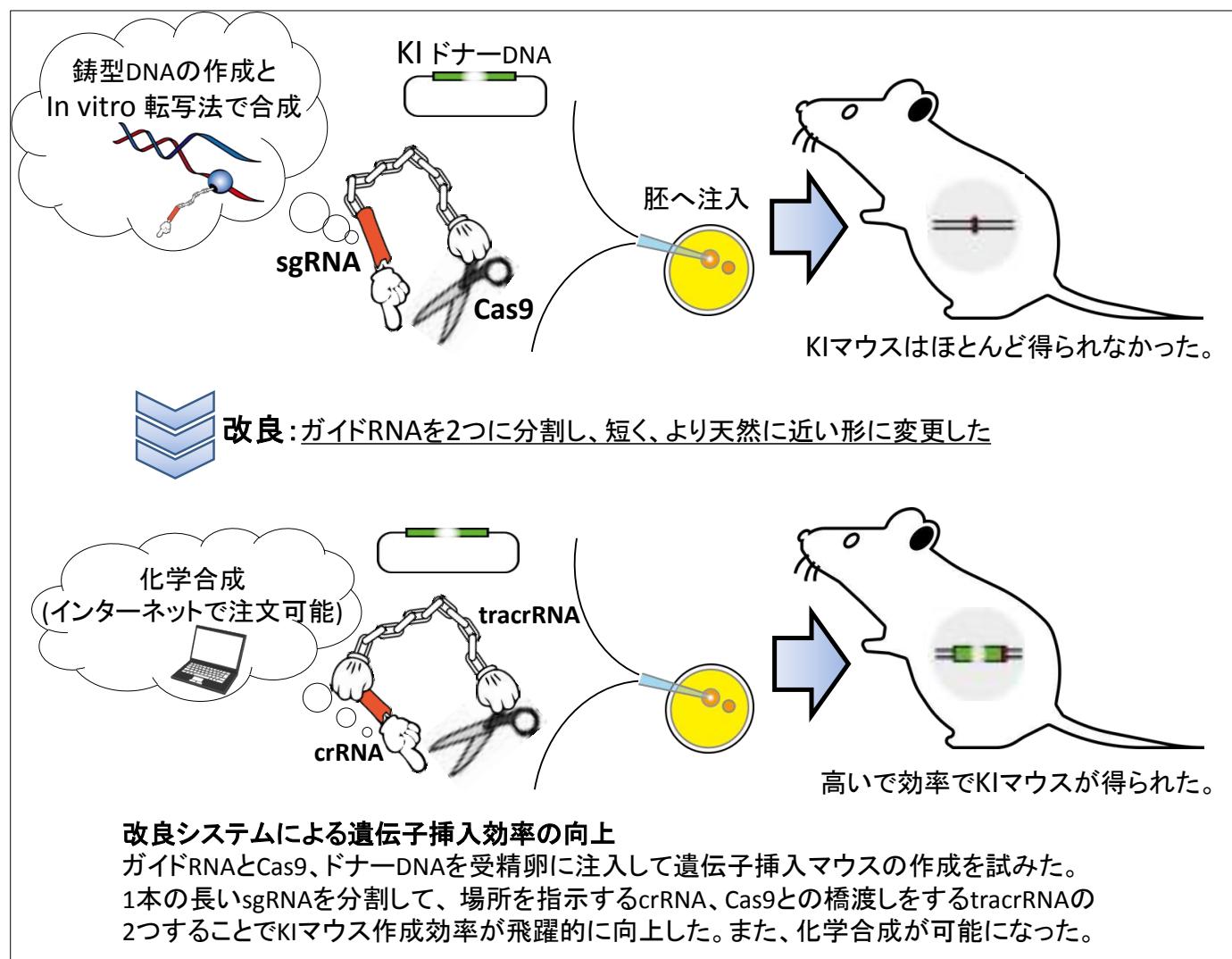


ゲノム編集 CRISPR/Cas 法を改良 遺伝子挿入にも威力を発揮

ファスマックはゲノム編集技術 CRISPR/Cas 法をより簡便に改良するとともに、非常に高効率なノックインマウス作成法を開発しました。本研究は東京医科歯科大学を中心とした、広島大学、慶應義塾大学との共同研究により行われ、その成果が国際誌 *Genome Biology* に掲載されました。研究の詳細については [Aida et al. *Genome Biology* \(2015\) 16:87](#) をご覧ください。

CRISPR/Cas 法によるノックアウトマウスの作成は近年急速に普及してきましたが、一方でノックインマウスの作成は非常に重要で困難な課題でした。今回の研究成果によりその困難が克服され、医薬学研究を大幅に加速することが期待されます。また、実験操作による RNA 調製が不要になり簡単に CRISPR/Cas 法が使用できるため、広い分野の研究者・技術者の方にゲノム編集をご利用いただけるようになりました。

関連するサービスは [こちら](#) からご利用いただけます。



株式会社ファスマック

〒243-0021 神奈川県厚木市岡田 3088 ケーオービル A 棟 4 階

TEL 046-281-9901 FAX 046-281-9931

<http://www.fasmac.co.jp>

E-mail:dnacraft@fasmac.co.jp